

浦安市市街地液状化対策検討委員会（第6回）議事要旨

1. 日 時 平成27年12月25日（金） 15:00 ～ 17:00
2. 場 所 浦安市美浜公民会 大集会室
3. 出席委員 委 員 東 畑 郁 生、 中 井 正 一、
北 誥 昌 樹、 佐々木 哲 也、
吉 田 望、 團 彦太郎、
山 田 幸一郎、 横 山 和 夫、
石 井 一 郎、 宇田川 義 治

（敬称略）

4. 委員以外の出席者

浦安市

（事務局）

浦安市 都市整備部 復旧・液状化対策プロジェクト

醍醐主幹、斉藤主査、平舘主査、小池主査、羽田主任主事、本多主事
パシフィックコンサルタンツ株式会社

新井、佐藤、若狭

（地質調査受託業者）

応用地質株式会社

澤田、濱田

（事業計画案策定調査委託受託業者）

市街地液状化対策事業特定設計施工共同企業体

津國、小西、竹井、平井、内田、松川、坂井、宮澤、野口、今井、立山
手塚、山内、町村、戸部、太田、万戸

5. 議 題

- (1)第5回委員会の指摘事項の対応
- (2)第2グループの格子状地盤改良施工計画（案）
- (3)市街地液状化対策事業計画（案）

6. 配付資料

委員名簿と座席配置、傍聴要領、事業候補地一覧と位置図

資料1 第5回委員会の指摘事項の対応

資料2 第2グループの格子状地盤改良施工計画（案）

資料3 浦安市市街地液状化対策検討委員会概要報告書（案）

資料4 浦安市市街地液状化対策検討委員会報告書目次（案）

7. 議事概要

開 会および挨拶（事務局）

- ・取材に関する注意事項の確認が事務局より行われた。
- ・開会にあたって、松崎市長より挨拶があった。
- ・配布資料の確認、会議の公開に関する告知および傍聴要領の確認が事務局より行われた。

議事(1) 第5回委員会の指摘事項の対応

- ・事務局であるパシフィックコンサルタンツ株式会社から、資料1に基づき、第5回委員会での指摘事項と対応に関する説明が行われた。

議事(2) 第2グループの格子状地盤改良施工計画(案)

- ・浦安市市街地液状化対策事業計画案策定調査業務の受託業者である、市街地液状化対策事業特定設計施工共同企業体から、資料2に基づき、格子状地盤改良の施工計画(案)についての説明が行われた。

(主な質疑等)

以下の内容について確認された。

- ・機械攪拌による施工箇所の埋戻しは、道路工事の基準にしたがって十分な締固めを行う。
- ・地盤改良工事によって生じる変位が10～15mmとなり、検討しても原因が分からなかった場合には、改良位置を変更させてもらい、時間をおいて落ち着いてから施工するなどの対処が考えられる。
- ・計測杭による地盤沈下の確認は1点ではなく、宅地全周で実施する。確認する時期は基本的に施工中を対象としている。
- ・施工前、施工後の住宅、外構への影響については、市が別途実施する家屋調査により確認を行う。公共事業として事業を行うので、所定の施工方法を守って工事していた場合であっても万一被害が出た場合には、市として最終的に責任を持って補償等を行っていく。
- ・家の外壁と宅地境界までの距離が50cmしかない場合でも施工可能な方法の技術開発が望まれる。
- ・配合試験は各地区で土質条件が異なることから、各地区で実施し適切なセメント系固化材の添加量を決める。
- ・機械攪拌の場合、雨などにより施工間隔（中1日など）があいてしまうと改良体の一体化に不安が残るので、その場合には高圧噴射攪拌を併用して一体化するなどの対応を行う。
- ・検査により改良体が所定の深度まで達していないことが確認されたら、改良体はまだ固まっていないため、もう一回所定の深さまで施工しなおす。
- ・自主検査で全数施工管理データを取り、出来形、強度は一定頻度で確認を行う。これらのデータは書類として作成し、書類検査の形で市に見ていただく。また、一定頻度で市の職員もしくは施工管理業務を行う第三者機関に立ち会っていただく。これらのルールは施工担当者への教育をしっかりと行う。
- ・スイッチの入れ忘れ、紙切れ、雨に濡れてしまうなど、ヒューマンエラー等によりデータが取れない懸念については、工事を始める前にチェックシートなどを用意して確認する。
- ・当該工事を行った区域の各宅地所有者には竣工図書として各種データ及び関係図面を提出させていただくが、あくまで事業に参加した地権者に限定されるものである。
- ・施工は9時～19時30分で、日曜・祝日はお休み。人数は規模で異なるが、各地区管理技術者を常駐させ、現場代理人、社員が現地にはりつく体制をとる。

議事(3) 市街地液状化対策事業計画（案）

- ・浦安市都市整備部 復旧・液状化対策プロジェクト、醍醐主幹より10地区(約2600宅地)に対して事業計画(案)に基づく説明会が完了し、合意形成の作業を随時行っており、併せて今回提示した事業計画(案)をもって残り約1500宅地の説明会に入る旨の報告が行われた。

8. 市街地液状化対策検討委員会のまとめ

- ・事務局であるパシフィックコンサルタンツ株式会社から、資料3および資料4に基づき、委員会概要報告書(案)ならびに委員会報告書目次(案)についての説明が行われた。
- ・報告書の作成にあたっては、各委員の意見を伺った上で委員長に一任する。

挨拶（委員長）および閉会（事務局）

- ・東畑委員長より各委員、事務局への労い、熱心な傍聴者への感謝、今後の事業進展への期待、委員会報告書の貴重な成果として活用されることへの祈念を主旨とする挨拶をもって本委員会を閉幕した。

以上